



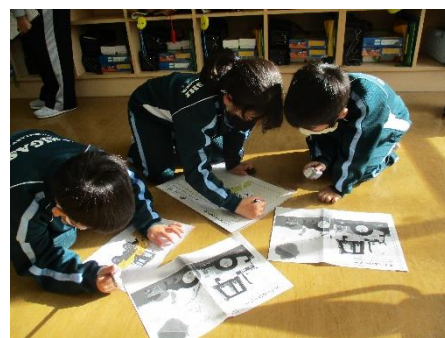
ドラえもん道具編⑤
～まあまあ棒～
この棒を持って怒っている人に「まあ
まあ」と言うと怒りがしずまる。

～1年2組 国語科授業研究～

単元名 せつめいする文しょうをかこう
「じどう車ずかんをつくろう」

成 果

- 「しごと」と「つくり」を関係づける言葉を明確にして示し、本時のねらいをしっかりと把握できるように教師の指示・板書で子ども達に伝わっていた。
- 前時までの学習のあしあとが分かりやすく掲示されていたことが効果的だった。
- グループになって話し合う場面で、自分達の話し合いに行き詰まると、隣の班に声をかけて視点のヒントを得ている児童もいた。色々な見方・考え方があることを知り、自主的に思考過程を共有できていた。
- 資料や絵本、実物など「しごと」と「つくり」を捉えて説明するための材料がしっかり準備されていて、それによって本時の学習が深まっていた。
- 実物を触りながら「つくり」を確かめていた。低学年での体験や操作、実物に触れることで学びが深まっていた。



課 題

- 1年生のグループでの学習において、一人一人の考えを一つにまとめていく作業はまだ難しい。一人一人がワークシートにまとめていき、そこで分からない時はグループの友達に聞いたり、のぞいたり、教師の支援を受けながら完成させ、できあがったものはグループの中で発表するとよい。
- 1年生の共有化で、どこまで求めるかは難しいところ。例えば「つくり」の2点を押さえた上で、「文作りをする」「個人のカードに書いてまとめる」活動の交流、共有化なら可能かもしれない。

